

2020年
(令和2年)
3月1日発行



やった!長町さん(栗林小6年)「ごはん・お米とわたし」作文部門 最高の総理大臣賞ゲット

全国農業協同組合中央会などが主催して、全国の小中学生から募集した第44回「ごはん・お米とわたし」をテーマにした作文・図画コンクールで、栗林小6年の長町そよかさんが、作文部門の最高賞・内閣総理大臣賞を受賞しました。

全国募集は、米や稲作農業への理解を深めてもらおうと、1976年から始まった歴史あるコンクール。今回の作文部門には、5万660点の応募があり、長町さんが「頂点」を極めました。

長町さんの作文は「広がれ!お米の可能性」が題名。日本と同様に、コメを主食とするベトナムへ家族旅行で訪れた体験をベースに書きました。食文化の共通点や相違点のほか、米の消費量が減少している日本でも、食べ方や加工によって、コメの持つ可能性が広がることを訴えかけ、巧みな文章構成などが評価されました。

地域の課題解決に一役 2020年度コミセン講座「お困りごと相談」を新設

仕事をリタイアされた方や、何か新しい“自分探し”をしたい方いませんか。栗林校区コミュニティ協議会(高田総会長)の2020年度(令和2年度)センター講座実施計画がまとまり、参加者を募集します。

新年度の特徴は「地域コミュニティ」がジャンルに組み込まれたこと。お困りごと相談コーナーを新設し、地域が抱える様々な課題について、専門家が解説に当たり、高齢化社会の課題解決に一役買ってくれます。

このほか、クラフト体験教室が加わり、アロマ、ハーバリウム、つまみ細工、刺しゅうなど手先を使った講座。高齢者から子どもまでが楽しめそうです。

長年にわたり、高松市の要請で開設していた高齢者教室と女性教室は閉講となりました。代わって、栗林校区では、老人クラブ連合会が高齢者向けの講座を引き継いでくれます。講座数は前年度並みの34講座。

問い合わせ、申し込みは栗林コミュニティセンター(☎087-835-5399)まで。

運営委員会からのお知らせ

2月の運営委員会は2020年度(令和2年度)の校区の主な行事日程を次の通り決めました。



行 事	日 程	場 所
総 会	5月16日(土)	コミュニティセンター
住 民 運 動 会	5月23日(土)	栗林小学校
夏 祭 り	8月22日(土)	栗林小学校
敬 老 会	9月21日(月・祝)	栗林小学校
文 化 祭	10月31日・11月1日(土、日)	コミュニティセンター
防 災 訓 練	11月22日(日)	栗林小学校
福祉餅つき大会	12月20日(日)	コミュニティセンター

栗ちゃん発信

校区の皆さま、今年の冬を「寒い!」と感じた人はいますか。暖冬とは予測されていましたが、まさかこれほどとは。栗林公園では、梅の花が例年より2週間ほど早く2月中旬に満開となり、一足早く「春」。その後、初雪がちらついたものの、桜の開花も早まりそうです▼こんな気候とは裏腹に、世界中を震撼させているのが、中国湖北省武漢市を発生源とする新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大。新聞やテレビのメディアでは、連日、1面のトップ扱い。武漢からの帰国邦人の感染も増え続けています▼さらに、ダブルパンチとなったのは、集団感染が起きている、横浜港に停泊中のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」。毎日のように感染者が日本の病院に搬送されています。乗船客は、高齢者が多いとあって、精神的にも肉体的にも心中穏やかでないのでは。一日も早く「自由の身」になれることを祈って止みません▼感染拡大の影響は各界に広がっています。経済界はもとより、日本各地の行楽地や、約5ヵ月後に迫った東京五輪への影響を懸念する声も。栗林公園でも、毎年増え続けている外国人入園者が減っているようです。春の四国路は霊場88カ所巡りなど絶好の観光シーズン。締め括りに「才能なし」の一句。(ヘリンリンと 鈴の音軽く 春遍路)。こんな風景が減らないで欲しいと願うばかりです。



解説

コミュニティスクール⑩



第3回栗林小学校学校運営協議会が2月17日(月)に栗林小学校コミュニティルームで開催されました。学校運営協議会委員15名と教員6名が参加し、今年度の取り組みと、来年度に向けての課題について話し合いました。まず、学校長から本年度の教育活動の5つの重点内容について成果と課題を説明しました。次に、担当の教員から体力づくりの取り組みについてと、今年度の学校評価の結果について説明しました。体力づくりの取り組みの説明の中では、8月の第2回学校運営協議会で決まった「ジャンピングボードづくり」と「運動場芝生開放」の取り組みについての成果を具体的な事例をもとに紹介しました。その後の協議では、委員の皆様から栗林小学校の取り組みについてたくさんのご質問やご意見をいただきました。

最後に、来年度「栗林小学校学校運営協議会」で力を入れて取り組むことについて、共通理解を図りました。
=随時掲載=

廃食油収集のお知らせ

日時：3月9日(土)10時~12時

場所：栗林コミュニティセンター
西側自転車置き場(倉庫前)

※廃食油をお持ちになられた方は
記念品がもらえます。



3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1 英語・数学教室 歌声広場	2 楽しいストレッチ	3 のびのびクリッキー パソコン教室 えるふあみりい	4 高齢者食事サービス	5 桜町サロン ヒップホップ えるふあみりい	6	7 ジュニアユース
8 ファミリーサポート 英語・数学教室	9 廃食油 楽しいストレッチ 健康麻雀	10 パソコン教室	11 	12 リラックス 藤塚町サロン 子ども将棋クラブ クリッキー	13 ほのほの広場 ベビーマッサージ	14 将棋自由対局
15 サンデーシアター	16 楽しいストレッチ	17 のびのびクリッキー いきいき倶楽部 えるふあみりい	18 忘れ物展示 ~31日(火)	19 ヒップホップ えるふあみりい	20 休館日 (春分の日)	21 プレーパーク
22 再発見ツアー	23 楽しいストレッチ	24 パソコン教室	25	26 室新町サロン 子ども将棋クラブ えるふあみりい	27	28 ジュニアユース 里山ハイキング
29 	30	31 				

菊ちゃんのちょっとこんな話



~考えたい健全な食生活~

近年、食生活を取り巻く環境は多様で、さまざまな問題があると指摘されています。大家族で食卓を囲んでいた頃と比べ核家族が増え、食の形態も大きく変化。幅広い世代で「食」の偏りが見られるという声を聞きます。日々の食事は、食欲、体調、食事内容、食卓の雰囲気など食生活の向上を良好にするとされますが、現実はどうでしょうか。

最近の子どもの欠食(食事を摂らない)孤食(ひとりで食事を摂る)は増加傾向にもあると問題視されてきました。食育基本法には、①人間として健康に食べる力②人間らしく楽しく食べる力③環境に優しく食べる力(食の法律)が掲げられています。昨年秋、関東に住む娘が「上級食育アドバイザー」の資格を取得したことを知りました。動機は、主人のダイエットと家族の食生活を考えたようです。体力や免疫、抵抗力を落とさず、食事制限がストレスにならない為に栄養面や献立作りを素人の知識で考えるには不安もあって勉強したとか。今、「飽食」にあると言われる日本では「食品ロス」は喫緊の課題にもなっています。健全な食生活を考えることは、変化が著しい現代社会を生き抜く為の大きなテーマだと思います。

春の火災予防運動

令和2年3月1日(日)~3月7日(土)

全国統一防火標語

『ひとつずつ いいね!で確認 火の用心』

